



2学期終業式より  
(12月25日)

発行  
江戸川区立  
瑞江第二中学校  
校長 滝澤 清豪  
発行日12月25日  
東京都江戸川区  
瑞江4-54-1

かし、それって本当でしょうか？

みなさん、おはようございます。  
今日は、少し変わったテーマでお話したいと思えます。その名も「ゴールドマインエフェクト」です。「ゴールドマイン」というのは、金鉱、つまり金が埋まっている鉱山のことです。実は、みなさん一人ひとりの中にも、この金鉱が眠っているんです。しかし、金鉱はただそこにあるだけでは価値がありません。それを見つけて掘り当てて、初めて輝く宝物になります。

今日は、少し変わったテーマでお話したいと思えます。その名も「ゴールドマインエフェクト」です。「ゴールドマイン」というのは、金鉱、つまり金が埋まっている鉱山のことです。実は、みなさん一人ひとりの中にも、この金鉱が眠っているんです。しかし、金鉱はただそこにあるだけでは価値がありません。それを見つけて掘り当てて、初めて輝く宝物になります。

今日は、少し変わったテーマでお話したいと思えます。その名も「ゴールドマインエフェクト」です。「ゴールドマイン」というのは、金鉱、つまり金が埋まっている鉱山のことです。実は、みなさん一人ひとりの中にも、この金鉱が眠っているんです。しかし、金鉱はただそこにあるだけでは価値がありません。それを見つけて掘り当てて、初めて輝く宝物になります。

ただし、大事なことは、簡単にあきらめないことです。金鉱を掘るには時間がかかります。失敗したり、思うようにいかなかったりすることもありますが、諦めず、地道に掘り続けましょう。アメリカの研究者が、子どもたちに「簡単なパズル」と「難しいパズル」を選ばせる実験をしました。多くの子どもたちは簡単なパズルを選びました。しかし、中には難しいパズルに挑戦する子どももいました。結果的に、難しいパズルを選んで何度か失敗しながら取り組んだ子どもたちは、後の学力テストでより良い成績を出したのです。

① 好きなことを見つけて続ける  
好きなことは、自然と集中できますよね。部活での練習や趣味、勉強の中に「これが楽しい!」と思うことを見つけてください。それが金鉱の入り口かもしれません。

② 苦手なことにも挑戦する  
苦手だと思っていることの中に、意外な才能が隠れていることもあります。少しずつ挑戦することで、自分の可能性が広がります。

③ コツコツ続ける  
金鉱は一夜で掘り当てられるものではありません。毎日少しずつ掘り続けることが大切です。何度も繰り返して努力する中で、自分しかし気が付かなかった才能が見えてきます。

5. 実際の成功者たちの話  
スポーツだけではなく、他の分野でも同じことが言えます。例えば、有名な発明家トーマス・エジソンは、電球を発明するまでに何千回も失敗しました。しかし、彼はこう言ったそうです。「私は失敗なんてしていません。成功しない方法を何千通りも発見しただけだ。」この考え方が、彼を成功に導いたのです。大事なことは、失敗しても続けることなのです。

保護者の皆様へ  
今年一年、本校の教育活動にご理解・ご協力を頂戴し、誠にありがとうございました。令和6年もあと僅かとなりました。良い年をお迎えください。  
校長 滝澤清豪

続けて大事な話

皆さん、続けて話をします。この時期になると、皆さんにお伝えしておきたい大切なことがあります。学校は、皆さんが安心して学び、過ごせる場所であればなりません。もしも学校生活の中で、「おかしいな」「モヤモヤするな」「イヤだな」と思うことがあったら、どうしているでしょうか？

自分の中に閉じ込めてしまうと、心が苦しくなったり、何が正しいのか分からなくなったりしてしまいます。そんなときは、周りの大人に話してみてください。「相談する」という言葉を聞くと、「大ごとになるのかな?」とか「迷惑をかけるかも?」と思ってしまうかもしれません。しかし、難しく考えなくて大丈夫です。「ちょっと聞いてほしいな」とか「こんなことがあったんだけど...」と、まずは気軽に話してみてください。

また、直接話すのが難しいときや、知っている大人には話しづらいときもあるかもしれません。そんなときは、今日配布される「相談シート」を使ってください。このシートは、皆さんの気持ちを伝えるためのツールであり、その内容は東京都に直接秘密裏に送ることができます。これも安心して利用してください。

一方で、私たち教職員も皆さんが安心して過ごせるよう、守らなければならない大切なルールがあります。不必要な身体接触はしません。密室で二人きりになることはしません。

先生と生徒の間で交際関係が成立することは絶対ありません。

皆さんが学校生活で感じる「おかしいな」「イヤだな」は、どんな小さなことでも大切な気持ちです。それを無視せずに、まず話してみること、そして私たち教職員がそれをきちんと受け止めることで、学校をより良い場所にしていくのです。それでは、良い冬休みを過ごし、来年もまた元気な顔を見せてください。